

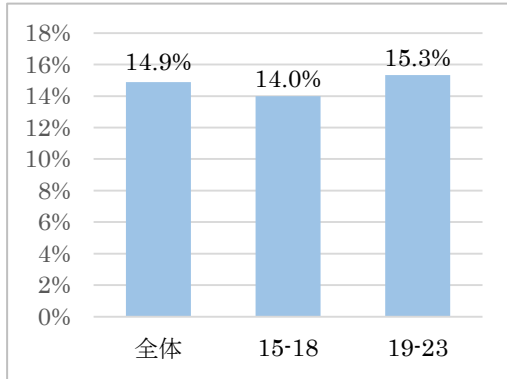
子供の生活実態調査＜若者(青少年)調査＞【付属資料】

図表

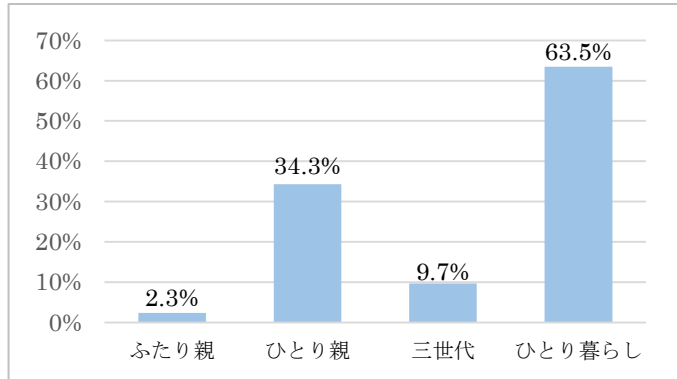
1 生活困窮の状況

(1) 所得の状況

図表 1-1 低所得率: 年齢層別(X)

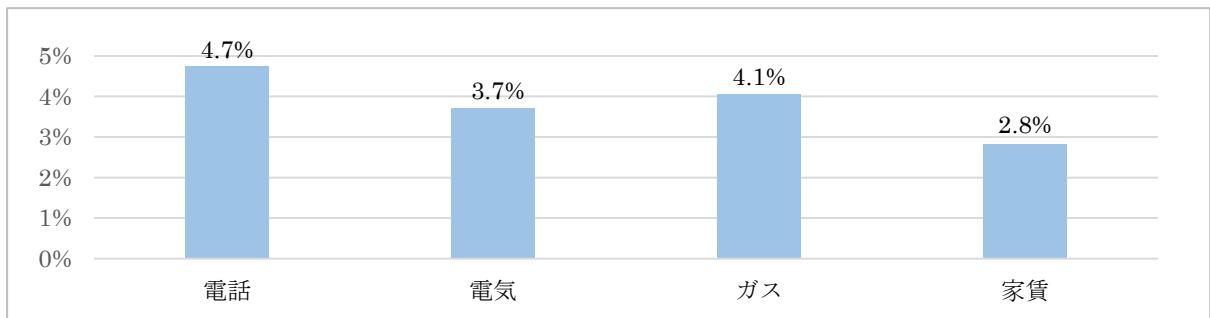


図表 1-2 低所得率: 世帯タイプ別 (***)



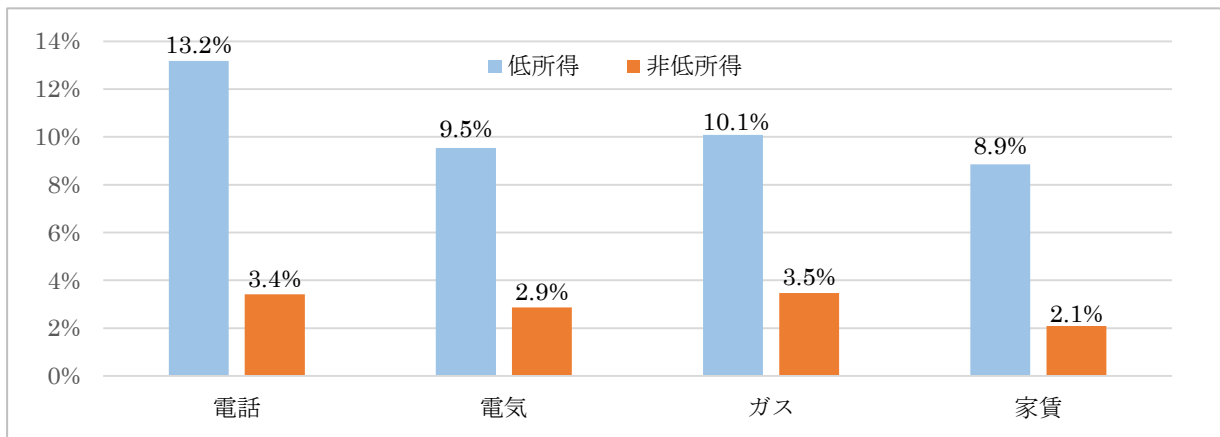
(2) 公共料金等の滞納経験

図表 1-3 公共料金等の滞納経験



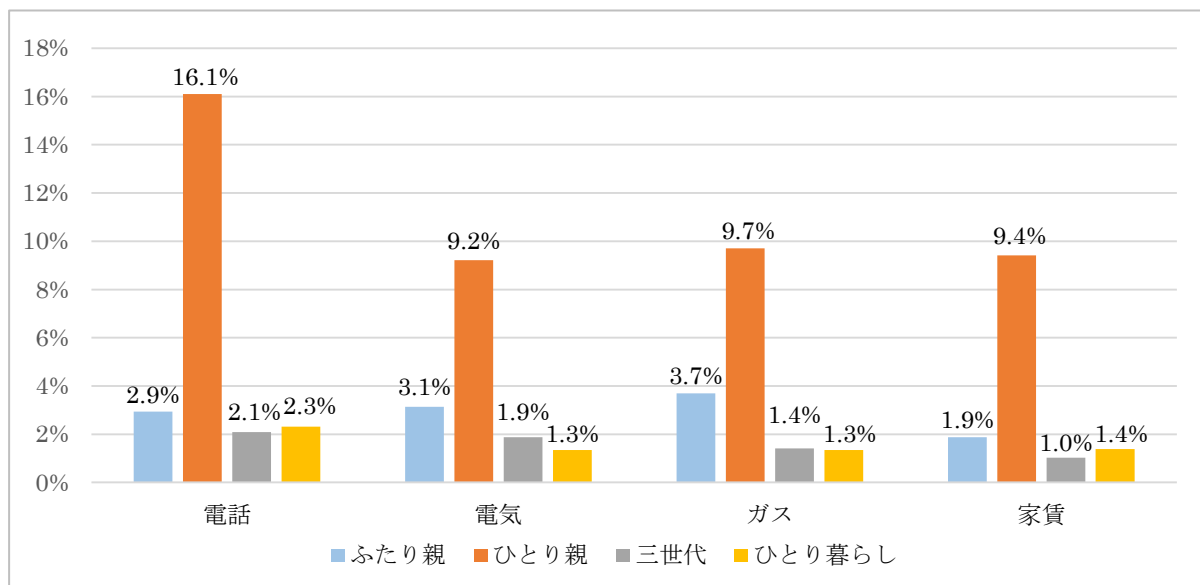
※ 保護者票および若者票(一人暮らしの場合)の情報から作成

図表 1-4 公共料金等の滞納経験: 所得階層別(全て***)



※ 保護者票および若者票(一人暮らしの場合)の情報から作成

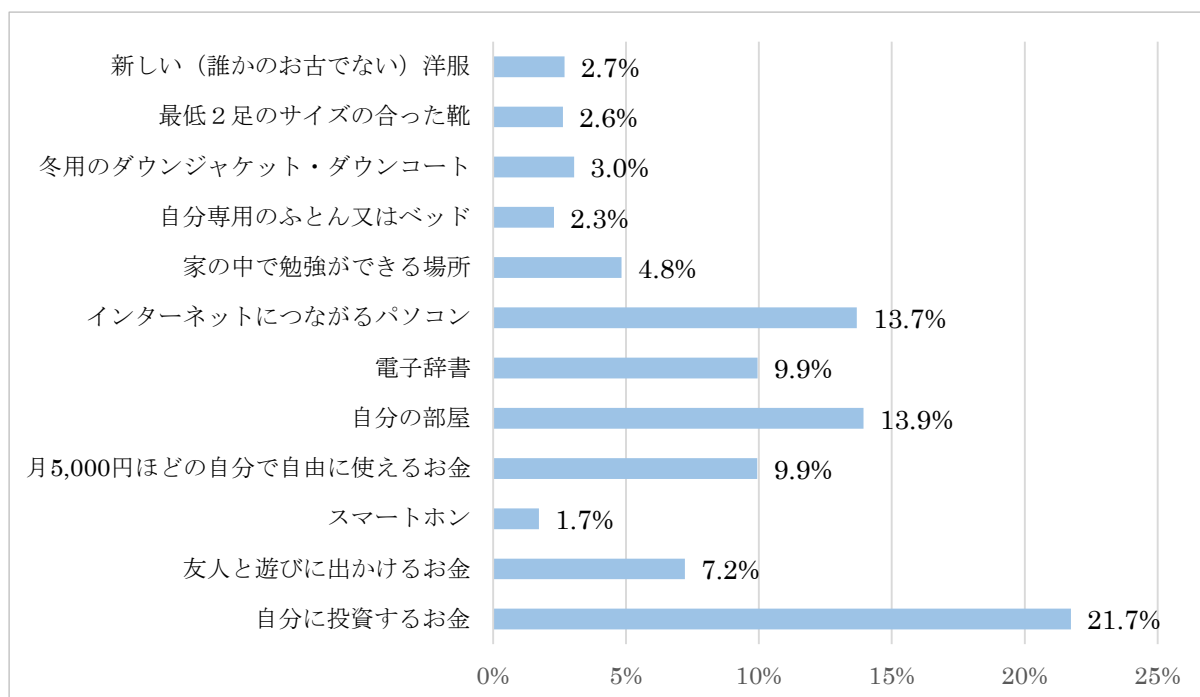
図表 1-5 公共料金等の滞納経験：世帯タイプ別(全て***)



※ 保護者票および若者票(一人暮らしの場合)の情報から作成

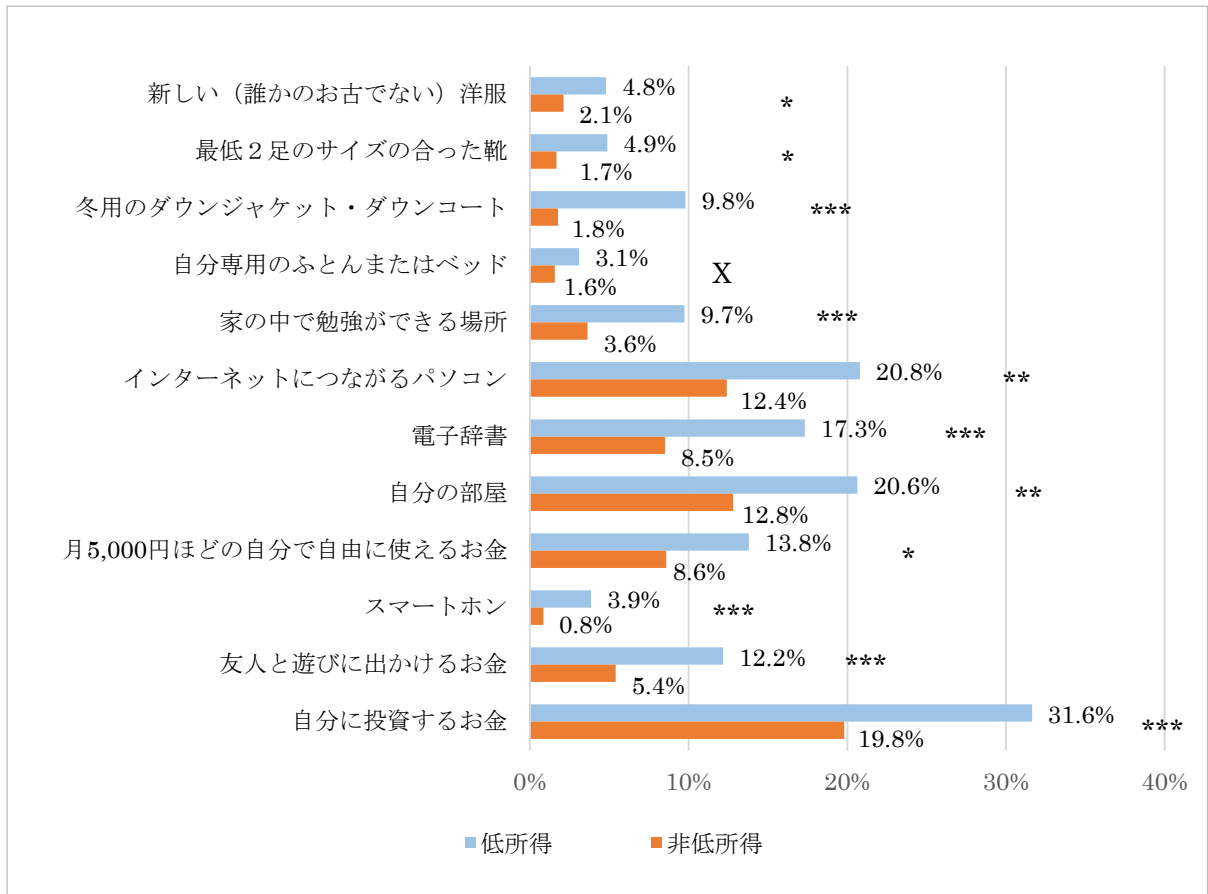
(3)所有物の状況

図表 1-6 所有物の状況(持ちたいが、持っていない割合※)



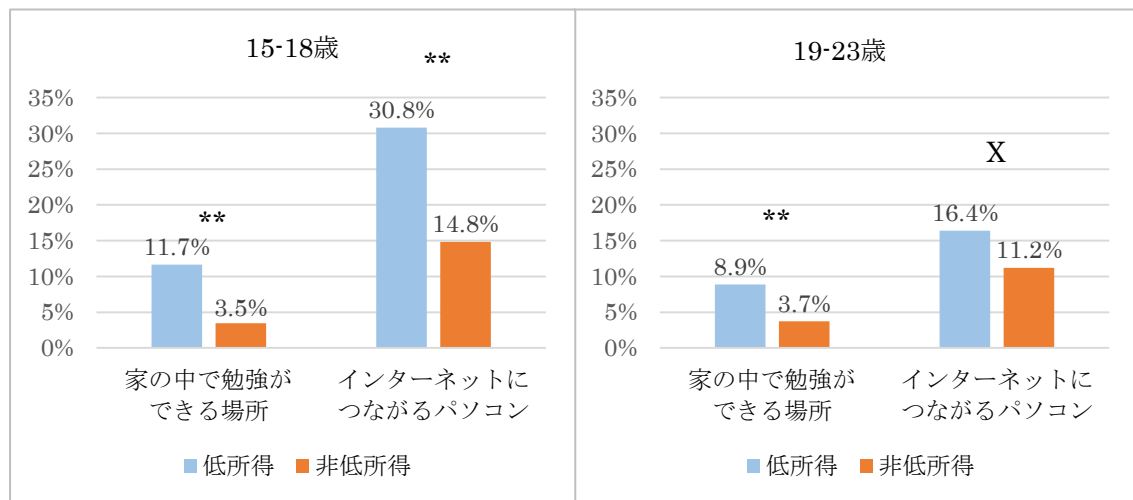
※「持ちたくない(いらない)」「無回答」を分母から除いた割合

図表 1-7 所有物の状況(持ちたいが、持っていない割合※):所得階層別



※「持ちたくない(いらない)」「無回答」を分母から除いた割合

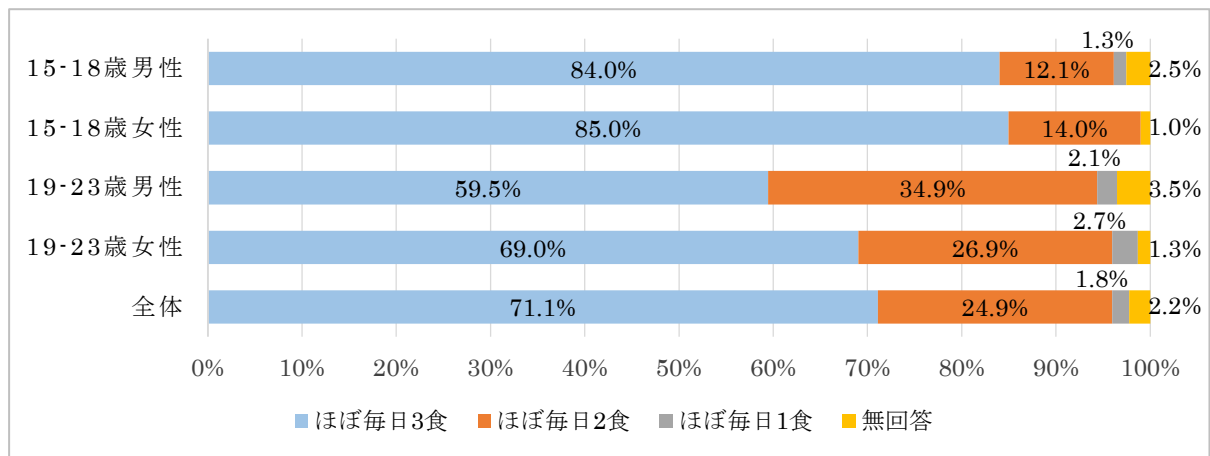
図表 1-8 所有物の状況(持ちたいが、持っていない割合※):所得階層別、年齢層別



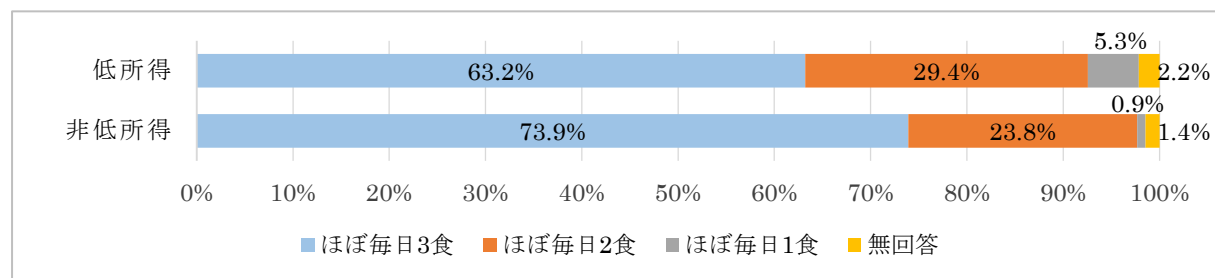
※「持ちたくない(いらない)」「無回答」を分母から除いた割合

2 食事・栄養の状況

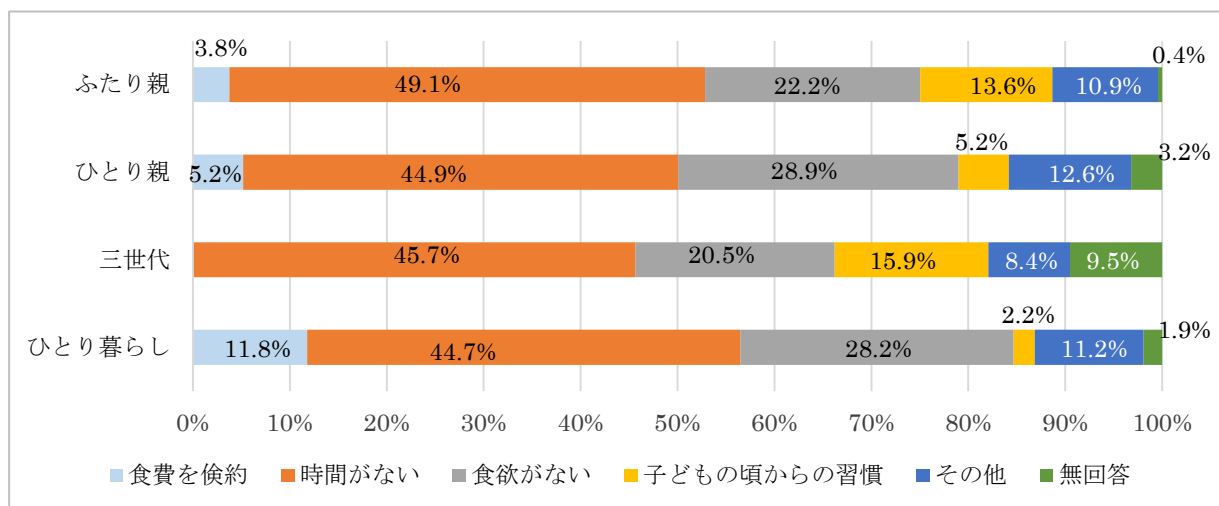
図表 2-1 平日(学校や仕事のある日)の食事の回数:年齢層、性別(***)



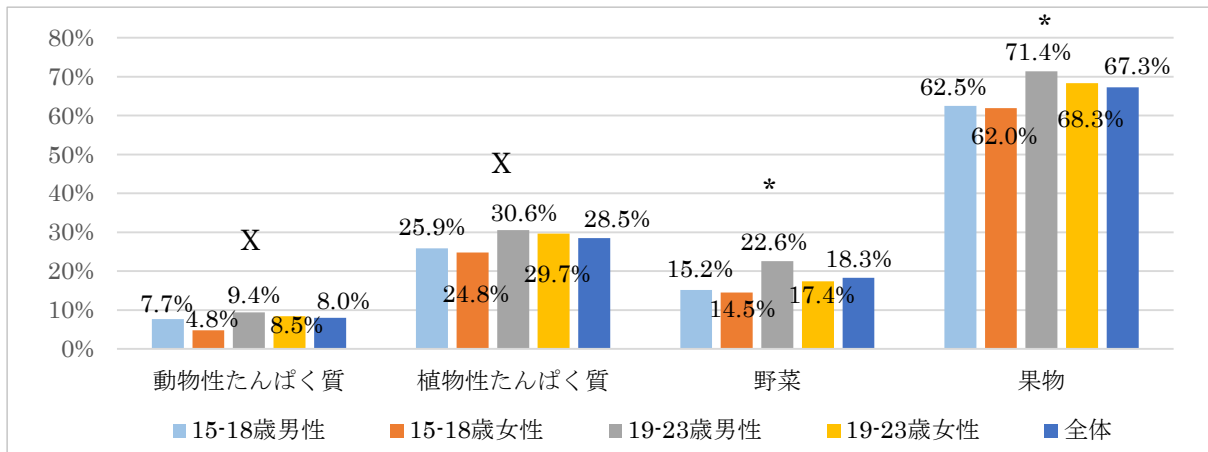
図表 2-2 平日(学校や仕事のある日)の食事の回数:所得階層別(***)



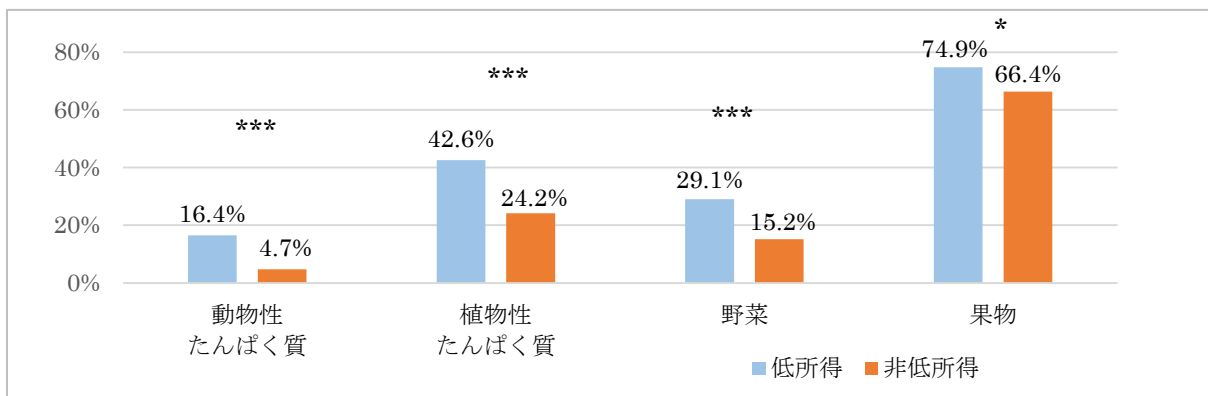
図表 2-3 平日に3食食べない主な理由:世帯タイプ別(X)



図表 2-4 1日1回摂取していない割合：年齢層・性別

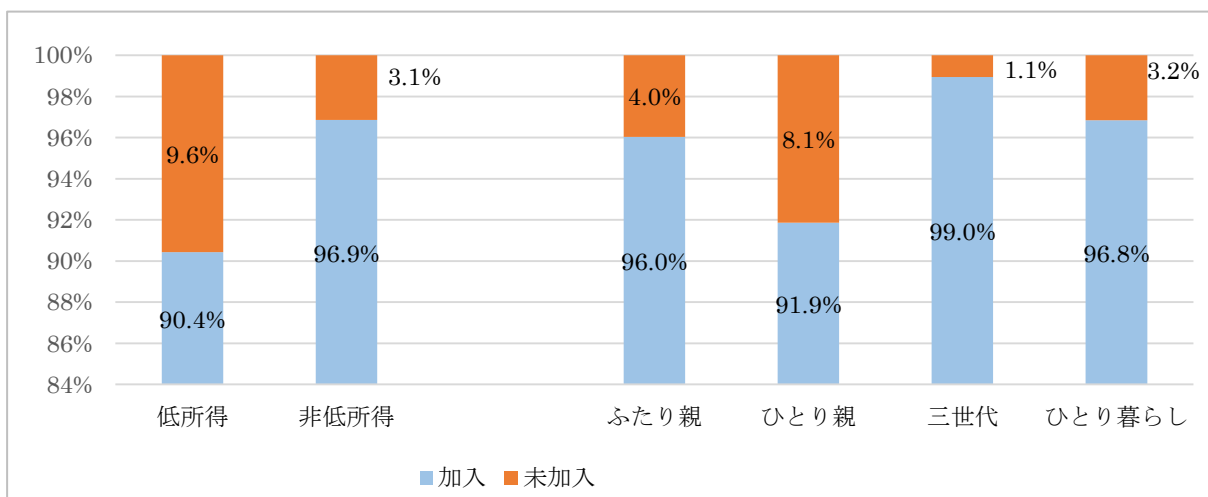


図表 2-5 1日1回摂取していない割合：所得階層別



3 健康

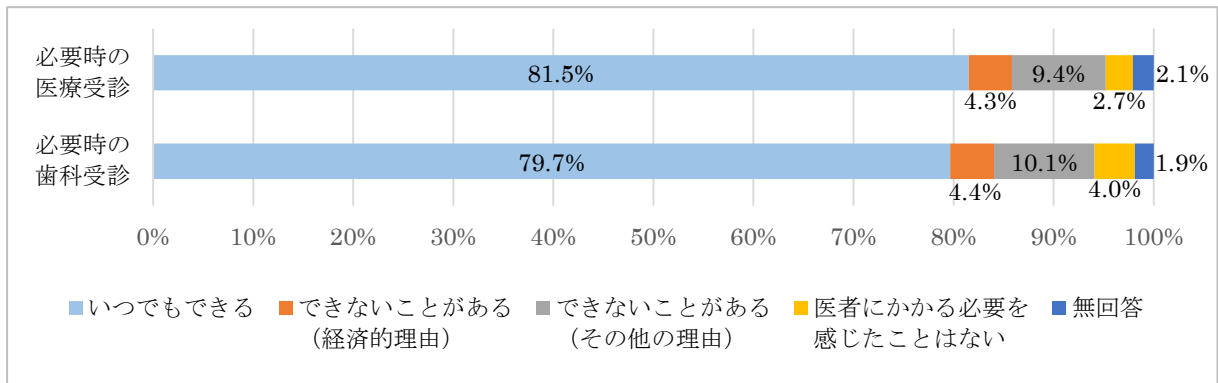
図表 3-1 公的健康保険の加入状況(本人回答による)：所得階層別(***)、世帯タイプ別(*)



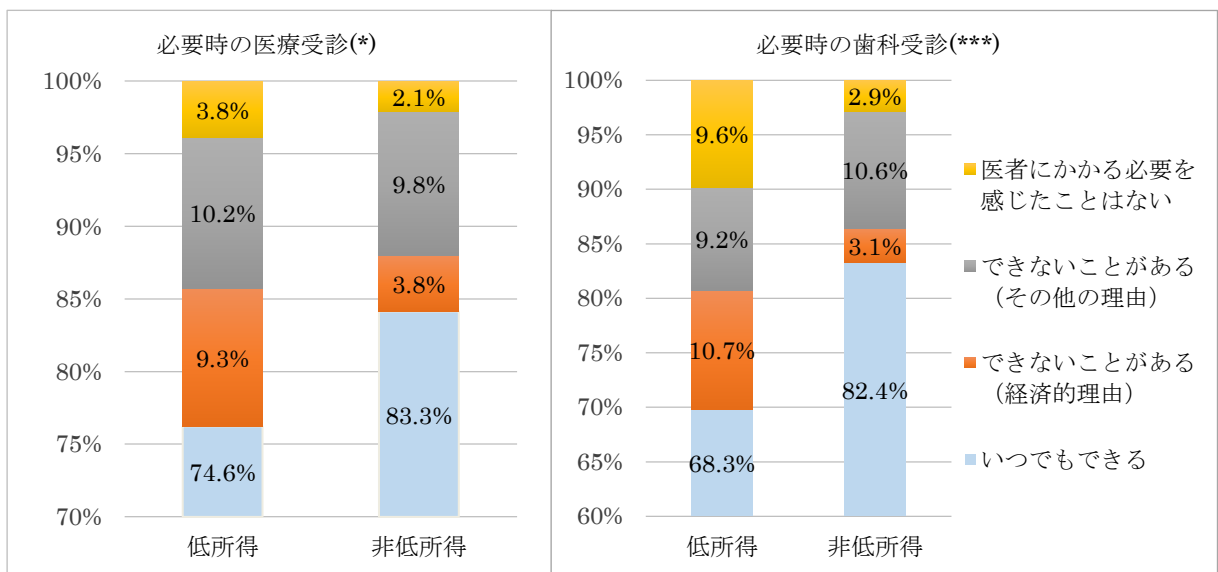
※加入・未加入の状況は、本調査対象者の回答によるものである。

※「加入」は、「自分または家族の国民健康保険に加入している」、「自分または家族の職場からの健康保険に加入している」、「扶養家族として、親の職場からの健康保険に加入している」と回答した割合。「未加入」は、「何も加入していない」と回答した割合。(無回答を分母から除く)

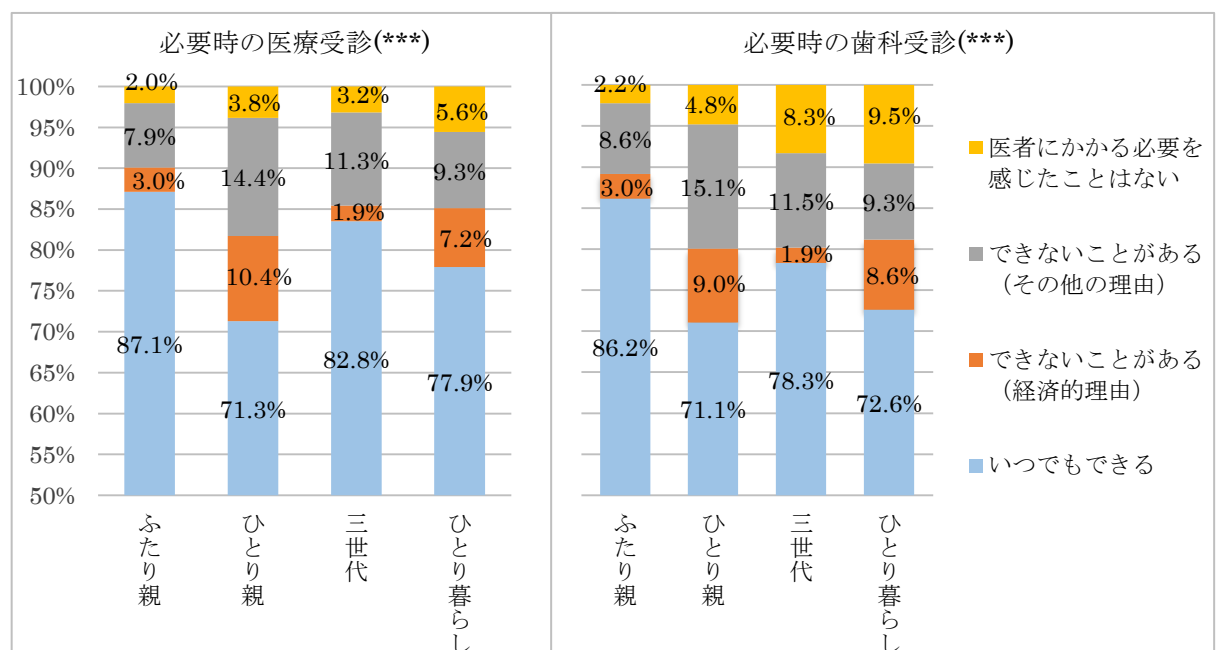
図表 3-2 必要時の医療受診・歯科受診



図表 3-3 必要時の医療受診・歯科受診:所得階層別



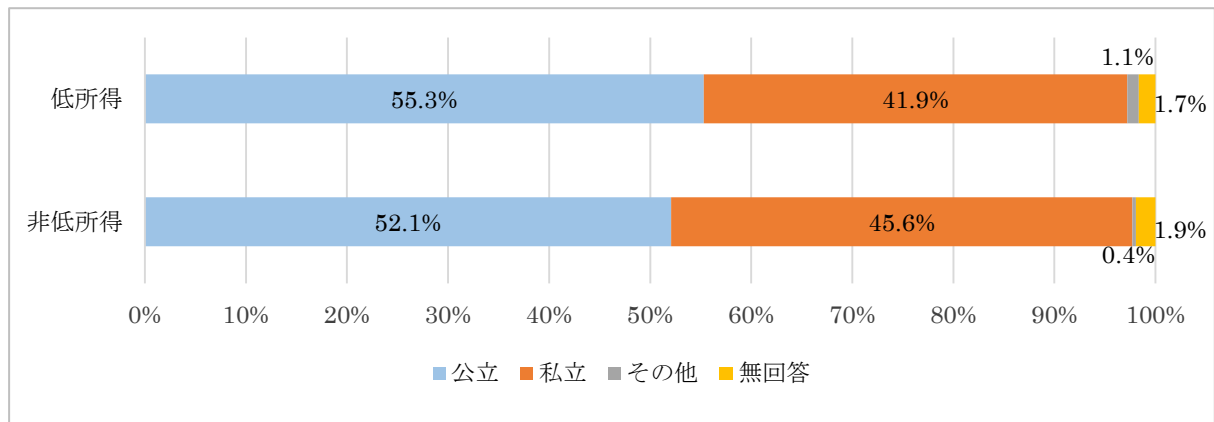
図表 3-4 必要時の医療受診・歯科受診:世帯タイプ別



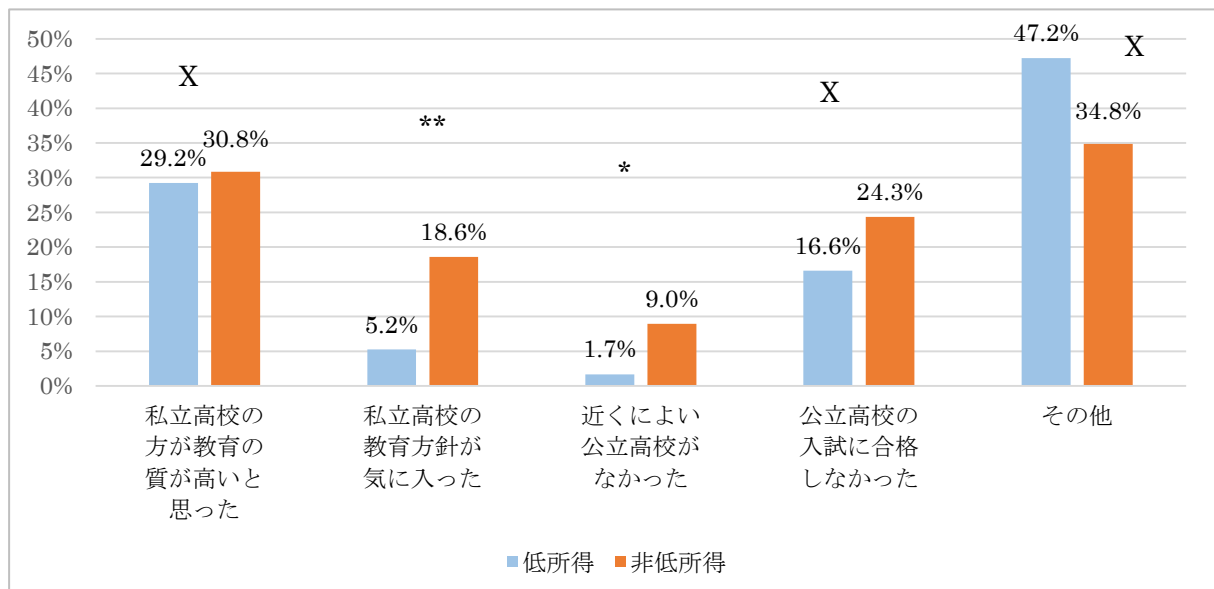
4 進学状況

(1)進学した高等学校の種類

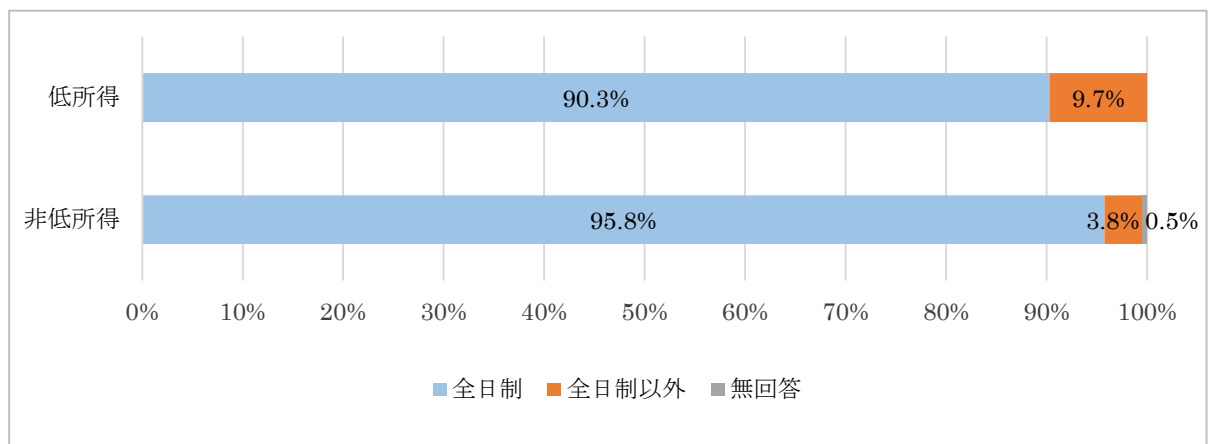
図表 4-1 進学した高等学校の種類(設置者):所得階層別(X)



図表 4-2 私立の高等学校に進学した理由(複数回答):所得階層別

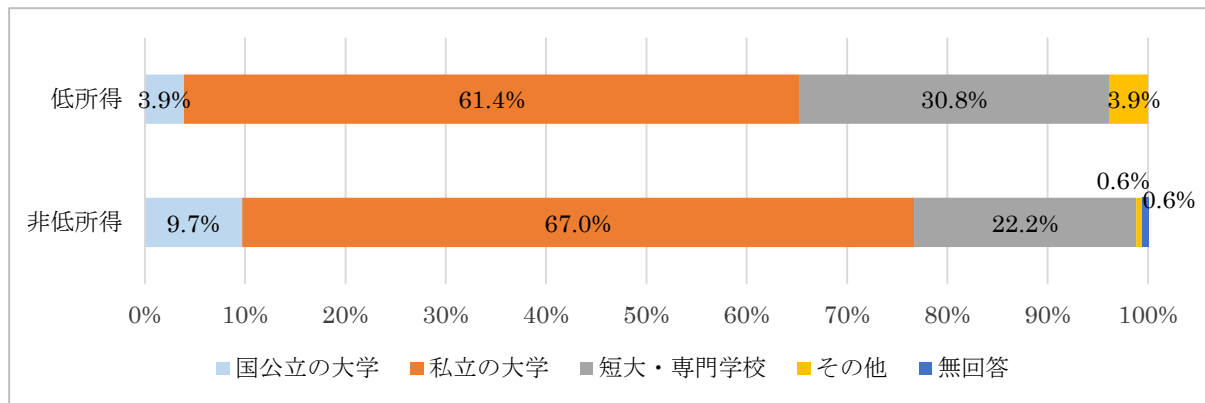


図表 4-3 進学した高等学校の種類(課程):所得階層別(**)



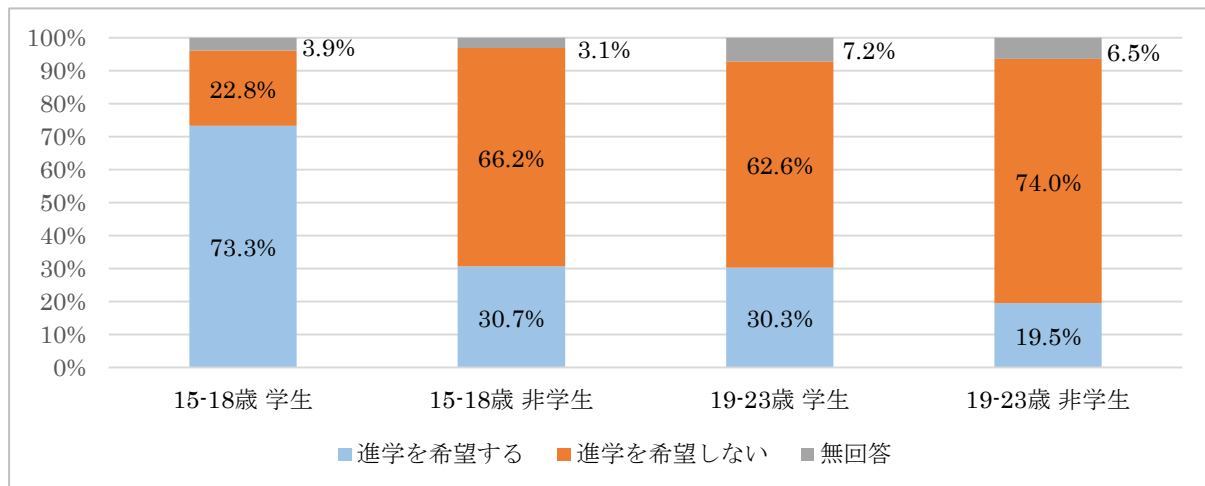
(2)高等学校卒業後の進路

図表 4-4 高等学校卒業後に進学した学校の種類:所得階層別(*)



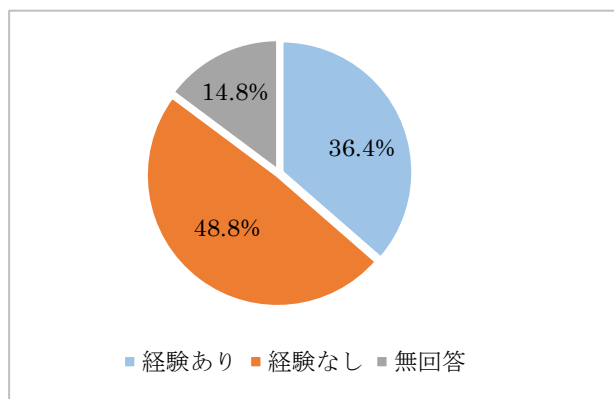
(3)今後の進学希望

図表 4-5 今後の進学希望 (***)

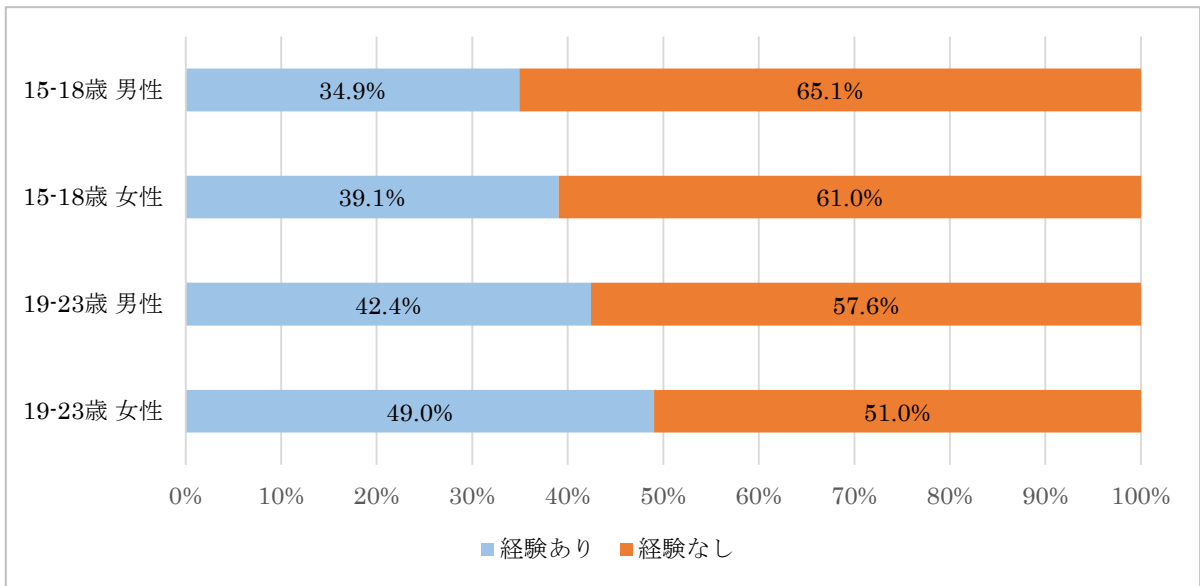


5 学校生活での困難

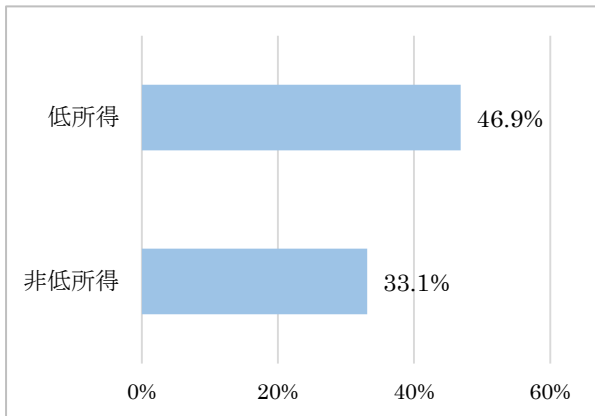
図表 5-1 学校をやめたいくなるほど悩んだことがある割合



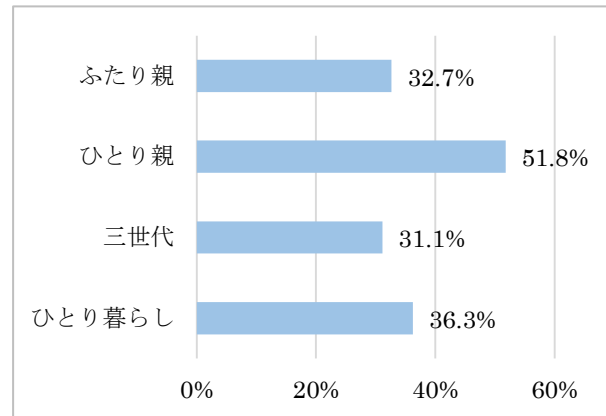
図表 5-2 学校をやめたいくなるほど悩んだことがある割合：年齢層別・性別(**)



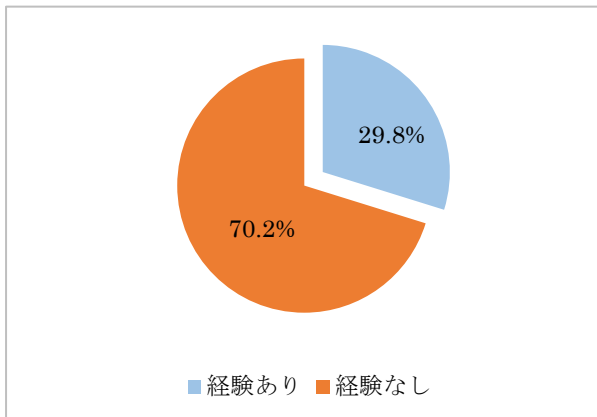
図表 5-3
学校をやめたいくなるほど悩んだことがある割合：
所得階層別(***)



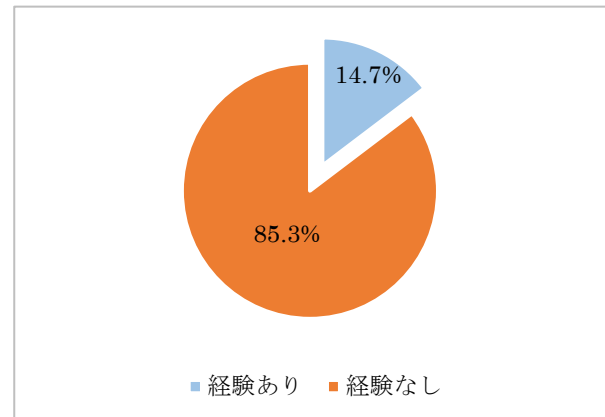
図表 5-4
学校をやめたいくなるほど悩んだことがある割合：
世帯タイプ別(***)



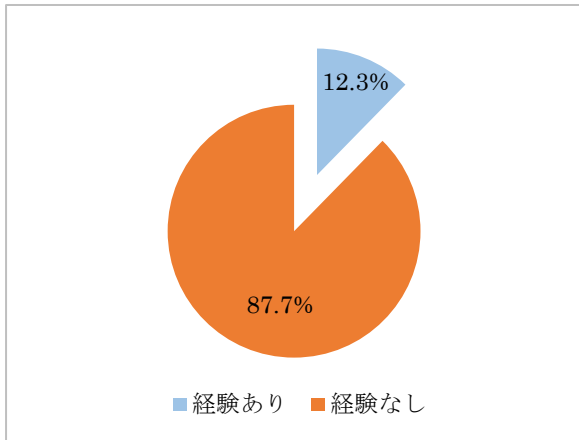
図表 5-5
学業の理由で、学校をやめたいくなるほど悩んだこと
がある割合(15-18 歳)



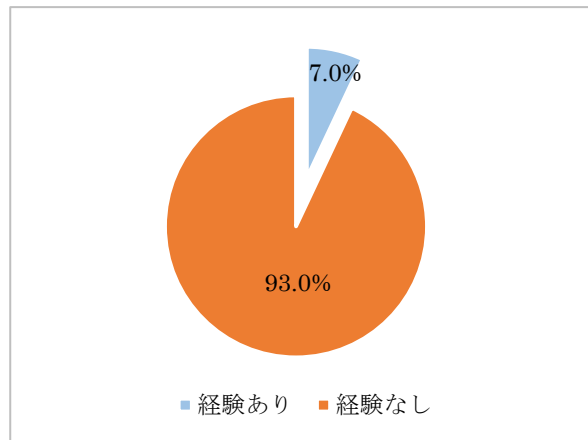
図表 5-6
人間関係の理由で、学校をやめたいくなるほど悩んだ
ことがある割合(15-18 歳)



図表 5-7
心身の健康の理由で、学校をやめたいと思うほど悩んだことがある割合(15-18 歳)

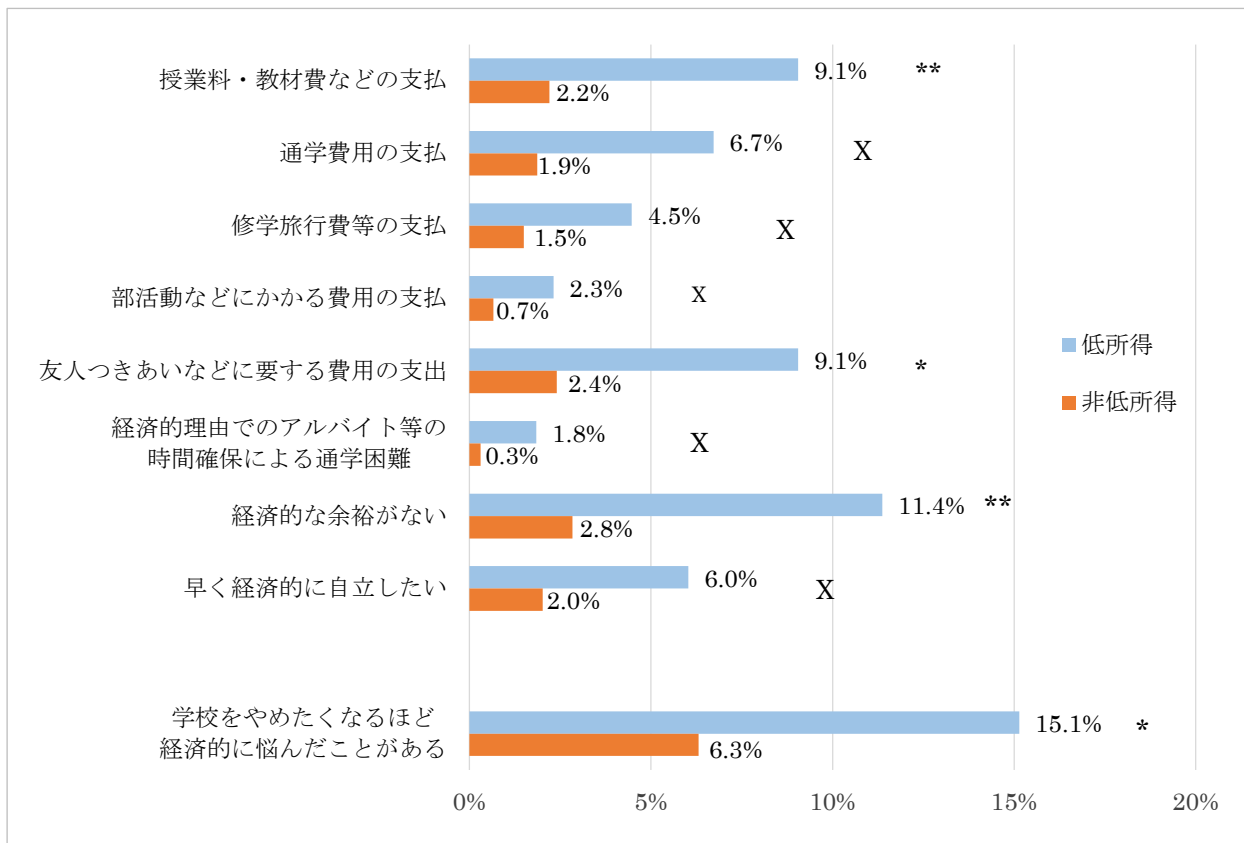


図表 5-8
経済的な理由で、学校をやめたいと思うほど悩んだことがある割合(15-18 歳)



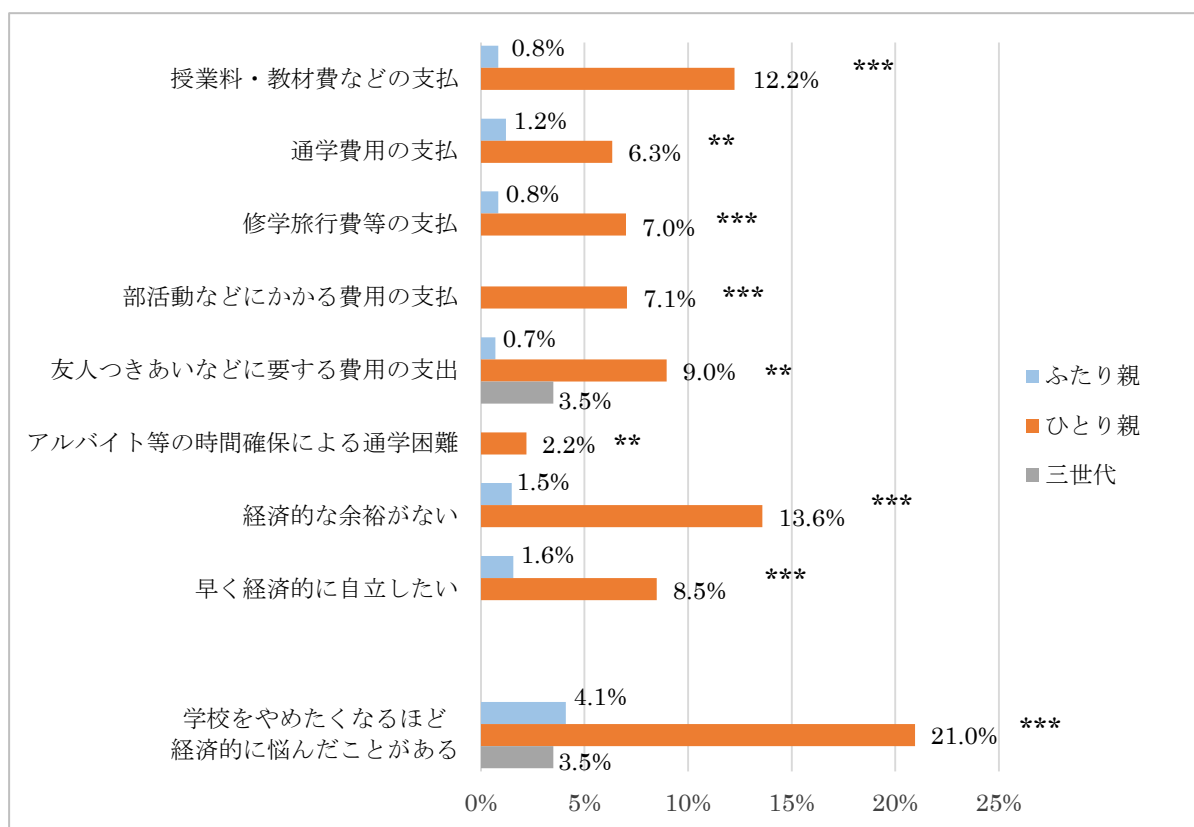
※19 歳以上および「ひとり暮らし」、「無回答」を除いた集計(図表 5-5~8)

図表 5-9 経済的な悩みがあった割合(15-18 歳):所得階層別



※19 歳以上および「ひとり暮らし」、「無回答」を除いた集計

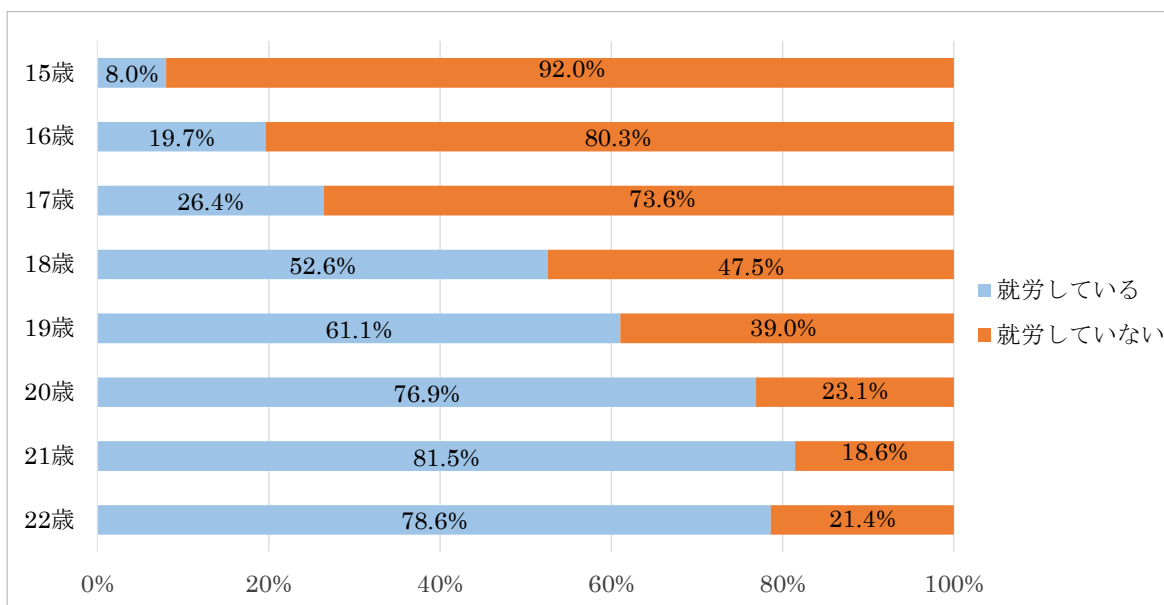
図表 5-10 経済的な悩みがあった割合(15-18 歳):世帯タイプ別



※19 歳以上および「一人暮らし」、および「無回答」を除いた集計

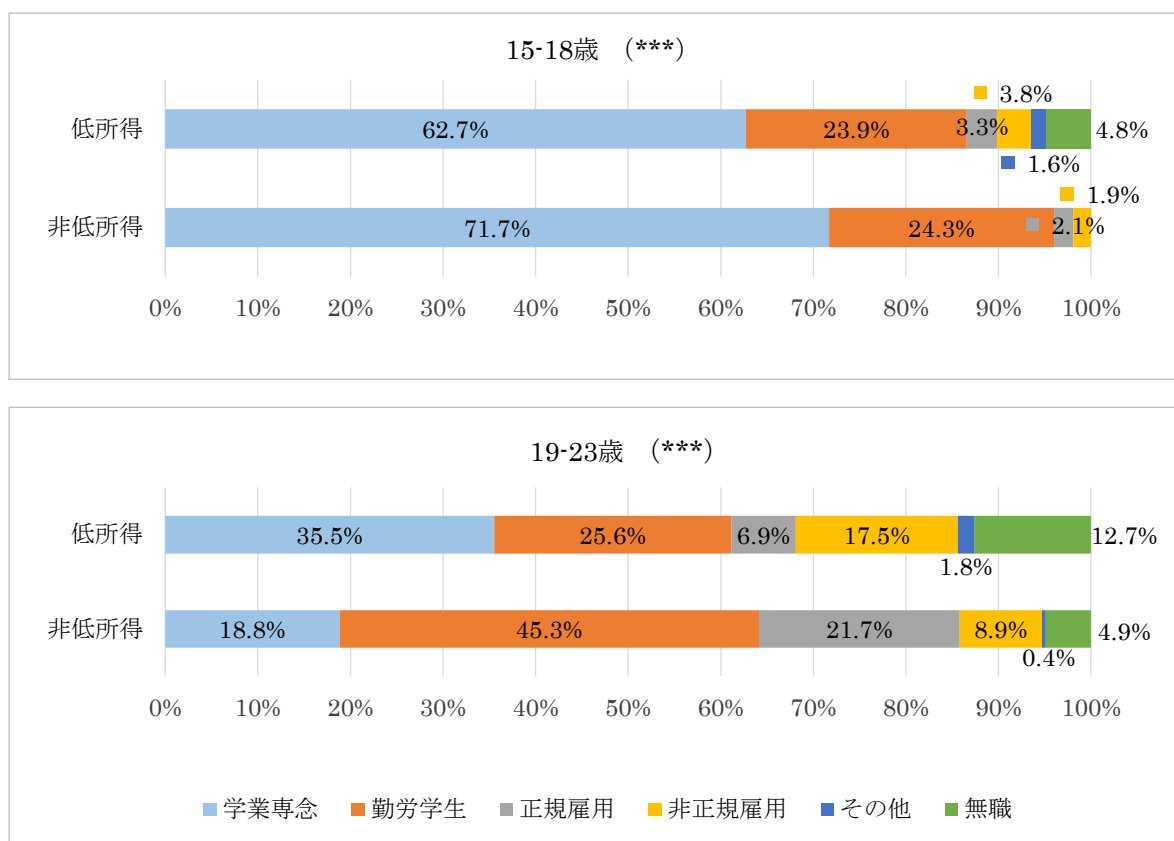
6 就労状況と就労にかかわる困難

図表 6-1 就労状況:年齢別 (***)



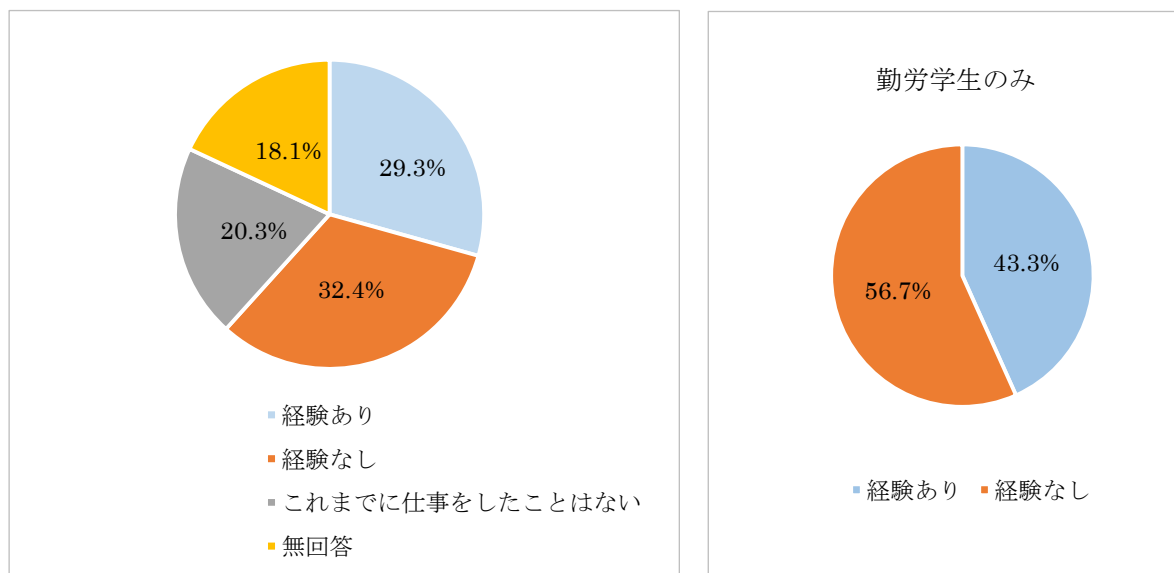
※23 歳はサンプル数が少ないため集計外。

図表 6-2 就労形態：所得階層別、年齢層別

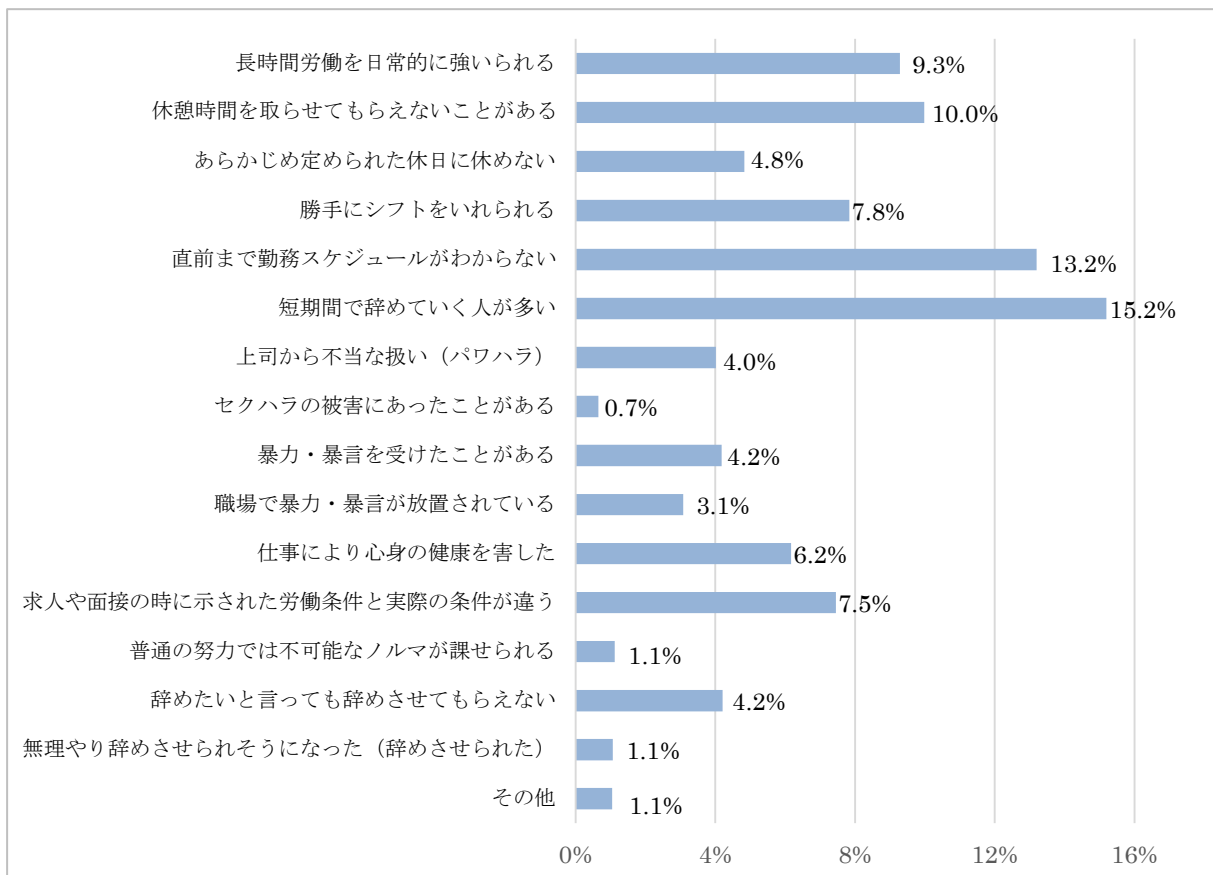


※「学業専念」は、アルバイト等就労をしていない学生。「勤労学生」は、アルバイト等就労をしている学生

図表 6-3 職場でのトラブル経験

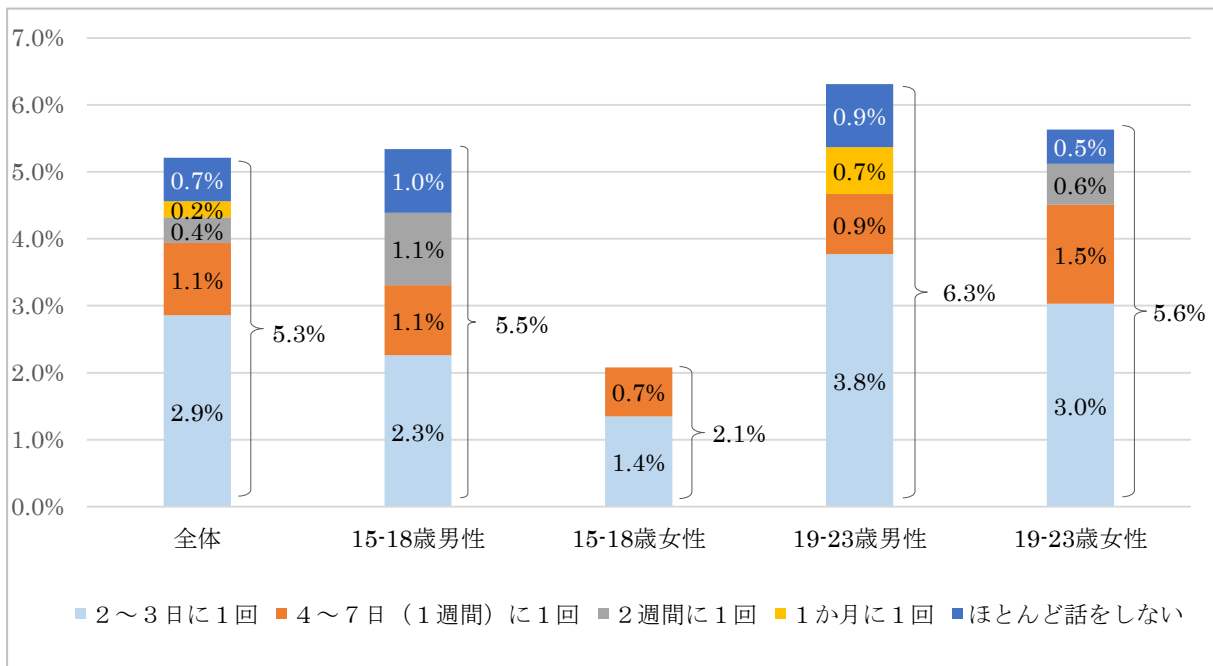


図表 6-4 職場でのトラブル経験の内容と経験割合

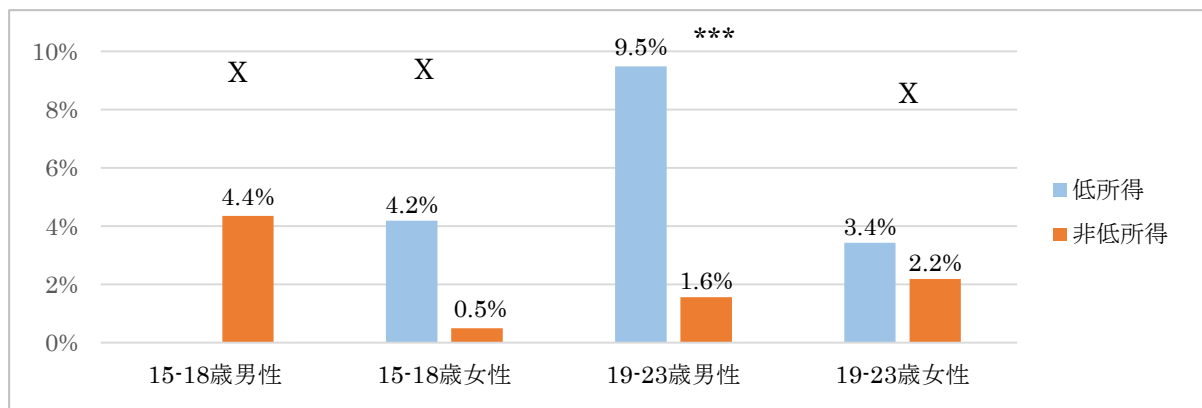


7 社会的孤立

図表 7-1 他の人と毎日、会話をしない若者の割合(X)

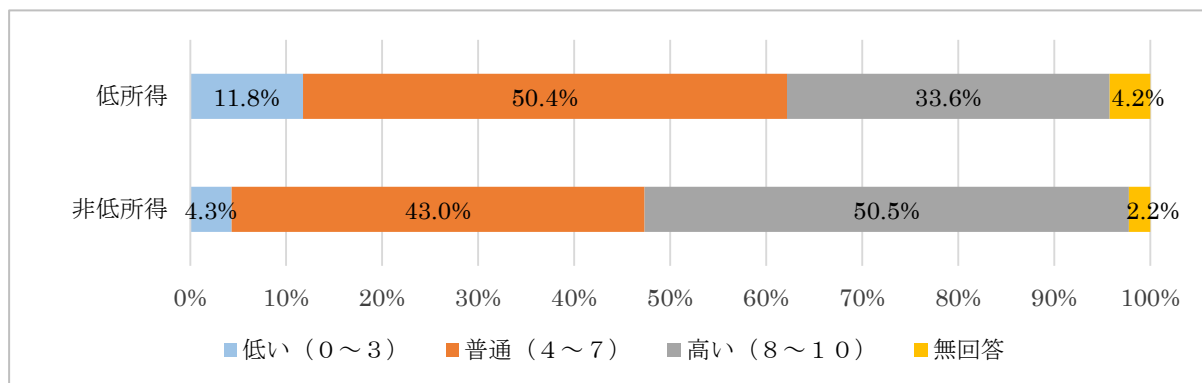


図表 7-2 会話が4～7日に1回以下の若者の割合：所得階層、年齢層別

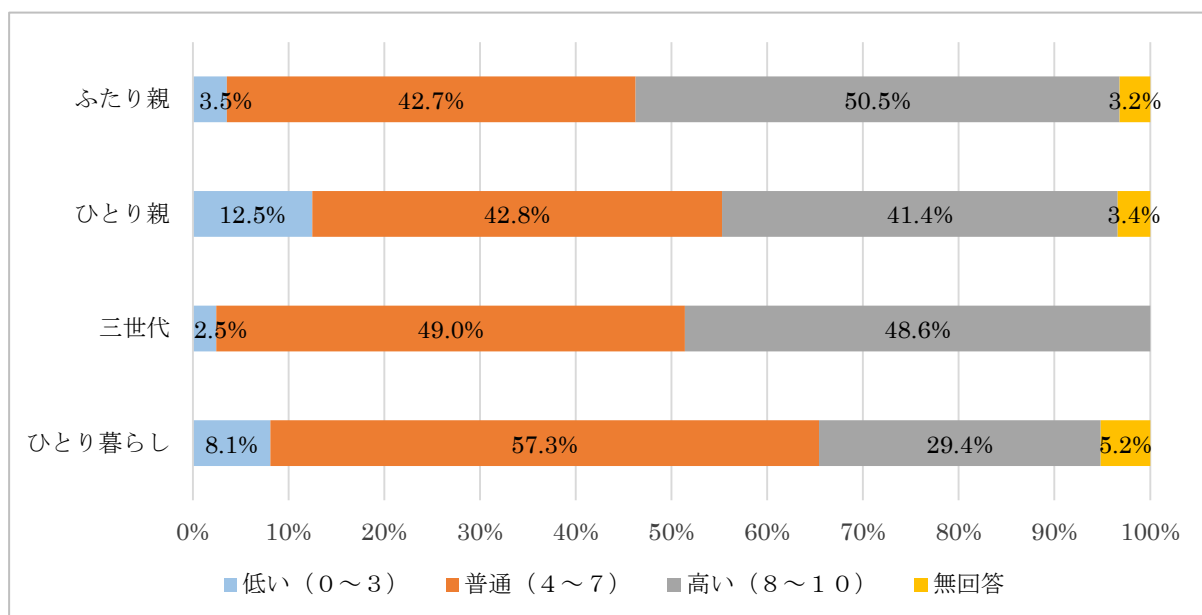


8 精神状況

図表 8-1 若者の幸福度：所得階層別 (***)

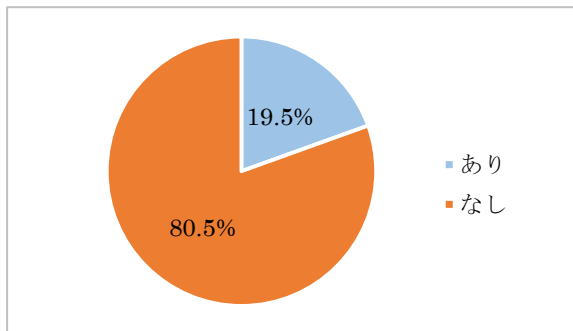


図表 8-2 若者の幸福度：世帯タイプ別 (***)



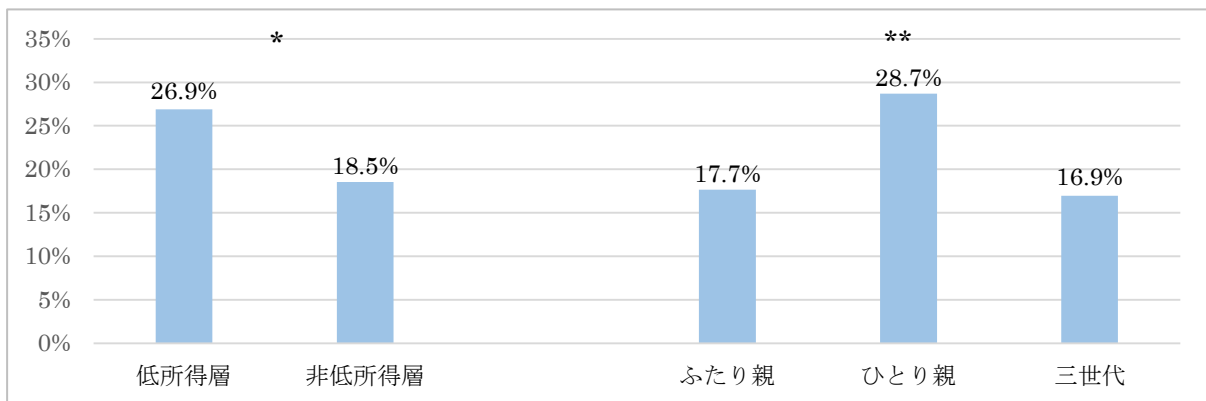
9 親の状況

図表 9-1 抑うつ傾向がある保護者の割合(CES-D*)

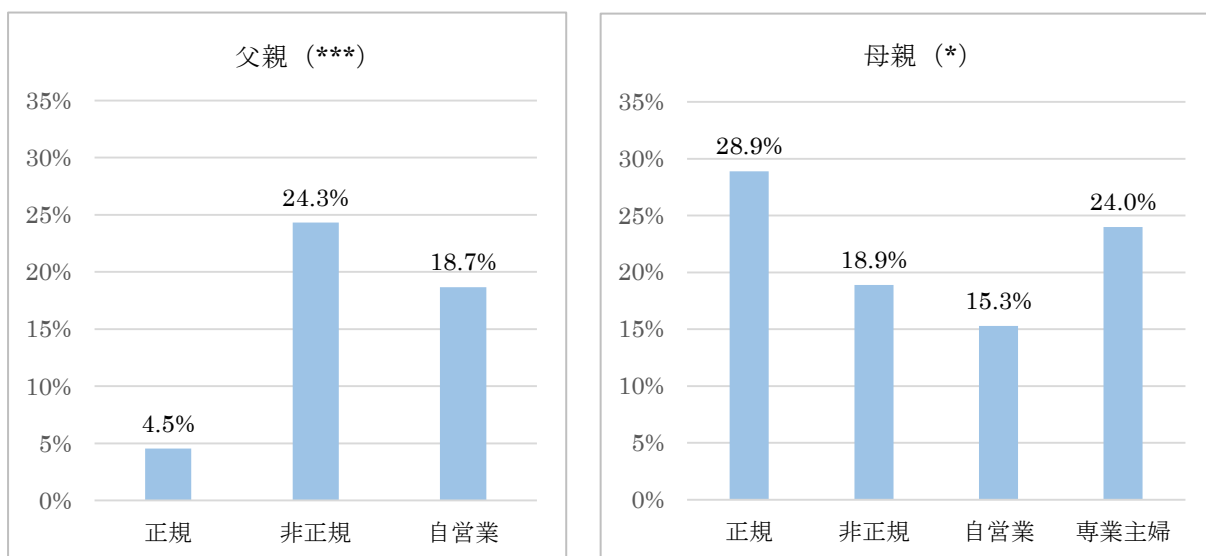


※ 保護者の抑うつ傾向を測る指標として、簡易版のCES-D尺度を用いている。CES-D尺度は、最近1週間の心の状態(「物事に集中できない」「落ち込んでいる」など10項目)についての経験頻度(「ほとんどない」「1～2日」「3～4日」「5日以上」)を聞き、それを点数化するものである。10項目を選択肢に応じてそれぞれ0～3点で点数化し、その合計点数が11点以上の場合、抑うつ傾向があると判断される。

図表 9-2 抑うつ傾向がある保護者の割合：所得階層別、世帯タイプ別



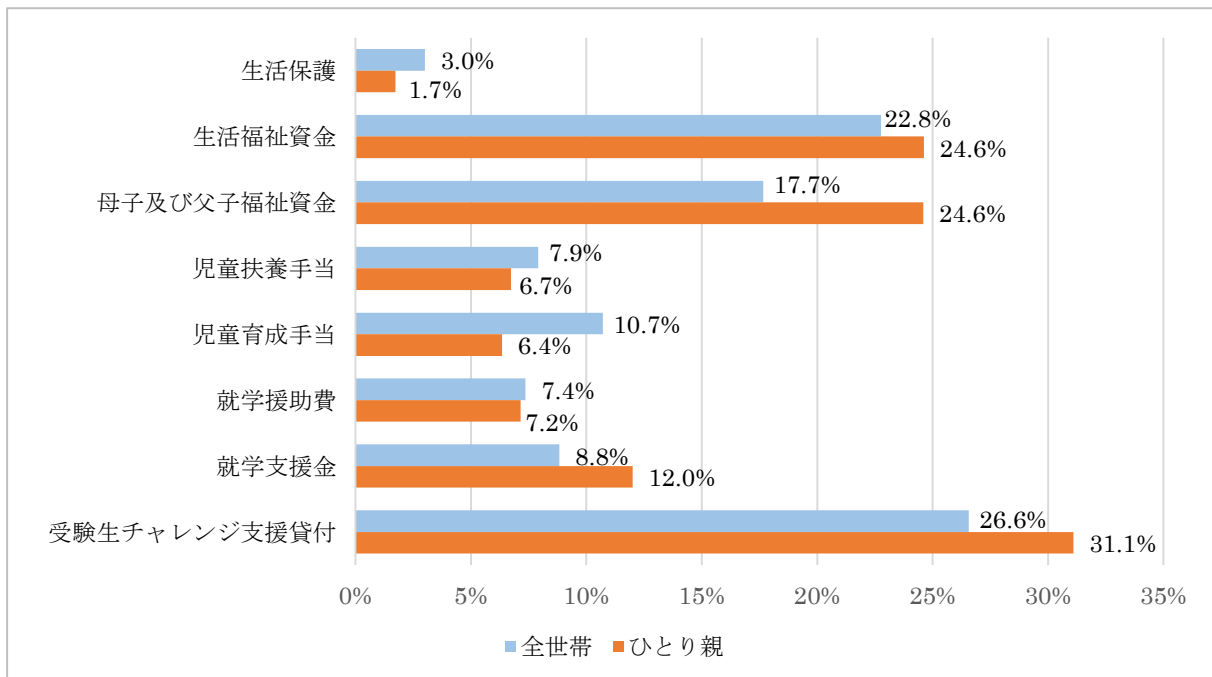
図表 9-3 抑うつ傾向がある保護者の割合：就労形態別



10 支援制度の利用と周知

(1) 支援制度の認知度

図表 10-1 以下の制度を「知らない」割合：保護者



(2) 支援制度を認知していない保護者の相談先

図表 10-2 制度を一つも「知らない」とした保護者が困ったときの相談相手

区・市役所（福祉部門、福祉事務所）	3.9%
区・市役所（子育て部門、子ども家庭支援センター）	1.8%
区・市役所（教育部門）	1.4%
区・市役所（雇用就労部門）	0.8%
学校、保育所、幼稚園の先生、スクールカウンセラー等	1.8%
民生委員・児童委員	0.2%
社会福祉協議会	0.0%
保健所・保健センター	0.6%
ハローワーク	1.9%
家族・親族	49.7%
友人・知人	12.4%
インターネットの相談サイト	1.2%
その他	2.0%
相談する相手や場所がない	10.5%
相談の必要はない	27.9%

集計方法

- すべての集計は、自治体、年齢層、性別の回収率にてウェイトを付けて集計している。
- 本報告において、クロス表の掲載の際には、 χ 二乗検定によって分布が統計的に有意であるかを検定している。その結果、1%水準で有意である場合は表頭に「***」、5%水準で有意の場合は「**」、10%水準で有意の場合は「*」、有意でない場合は「X」を付している。
- 世帯タイプは、保護者票の子供と父親、母親それぞれの同居状況から判別している。そのため、各制度や公的統計の定義とは必ずしも一致しない。
- 端数処理の関係上、合計と一致しない場合がある。
- 本報告の数値は速報値のため、今後公表される数値とは異なる場合がある。